

## 成人の歯科保健対策

健康推進課

### 1 歯と口腔の健康づくり支援事業

#### 1) 目的

県の学齢期以降の歯科疾患罹患率は全国より高く、働く世代の歯周病や高齢期での歯の喪失が多くなっている。歯科疾患を予防することは、歯の喪失を防ぐだけでなく、生活習慣病予防、介護予防、ひいては健康寿命の延伸につながることから、ライフステージに応じた歯と口腔の健康づくりを支援する。

#### 2) 事業内容

##### (1) 成人期の歯周病予防

###### ①事業所等における歯周病予防推進事業（県歯科医師会委託）

###### ・歯周病予防の重要性を啓発するセミナーの開催

内容：企業の衛生管理担当者に対して、歯周病予防の重要性を啓発するセミナーを開催

実績：2回 詳細は石川県歯科医師会 [資料8](#) 参照

###### ・歯周病予防出前講座の開催

内容：県内の事業所に対して、歯周病予防出前講座を実施

実績：20回（R8.1月末現在） 詳細は石川県歯科医師会 [資料8](#) 参照

###### ②歯と口腔の健康づくり普及啓発事業（県歯科医師会委託）

内容：広く県民に歯科保健指導を行い、歯と口腔の健康づくりの重要性を普及啓発

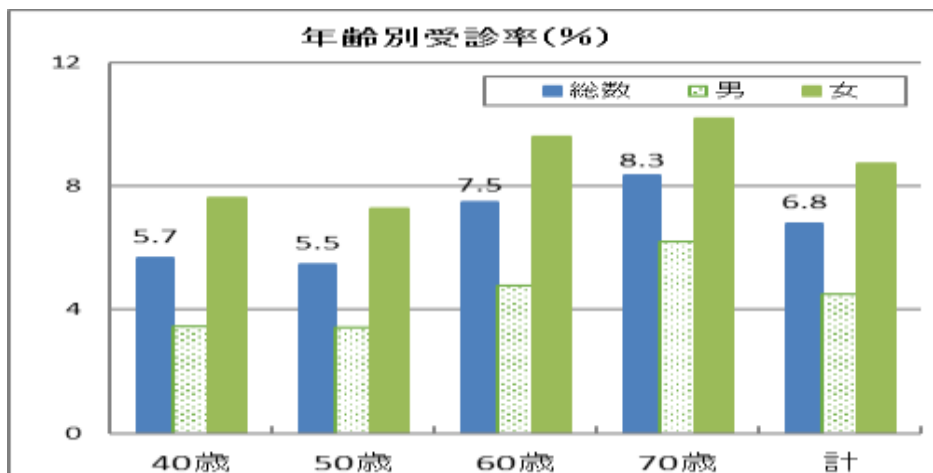
実績：健康づくり関連イベント（歯ッピーウエルカム、浅ノ川総合病院病院祭、つばた健康まつり、キッズケアいしかわ、森本小学校お仕事体験フェスタ、いい歯の日健口フェア、子育て支援メッセージいしかわ 2024）で歯科保健指導を実施（計7回実施、参加者1,186人）

##### (2) 歯周病検診を受けることができる環境の充実

歯周病検診実施体制：全市町で実施

集団検診 2市町、個別検診 19市町

受診者数（率）：令和6年度 2,939人（6.8%）\*40,50,60,70歳の節目年齢



・市町歯周病予防対策研修会の開催

内容：市町の歯科保健担当者等に対して、歯周病検診受診率向上等に資する研修会を開催  
実績：県庁及び各保健福祉センターで開催（計5回予定）（下記表参照）

	実施日	講師（敬称略）	テーマ
県庁	11月26日	国立保健医療科学院歯科口腔保健研究分野 統括研究官 福田 英輝	「歯周病健診マニュアル2023」に基づく歯周疾患検診について
南加賀	11月21日	医療法人社団翔 とみやま歯科 理事長 富山 高史	生涯にわたる歯周病予防対策について
石川中央	12月11日	石川県歯科医師会 理事 小林 憲一	歯周病と糖尿病の関連について
能登中部	9月11日	石川県歯科医師会 理事 小林 憲一	高齢期の歯科口腔保健対策について
能登北部	9月25日	石川県歯科医師会 理事 宮田 英利	オーラルフレイル予防～高齢者の口腔機能低下予防について～

（3）子どものむし歯予防

・子どものむし歯予防対策推進事業

内容：フッ化物洗口の導入を希望する市町を募り、モデル事業を実施

実績：1町（穴水町）1施設

（参考）R6 保育所等におけるフッ化物洗口実施状況（県事業以外も含む）

15市町108施設で実施（実施率28.4%）

小松市	10施設(25.0%)	加賀市	19施設(73.1%)	能美市	12施設(80.0%)
川北町	3施設(100%)	かほく市	11施設(73.3%)	野々市市	4施設(21.1%)
内灘町	4施設(44.4%)	七尾市	4施設(22.2%)	羽咋市	7施設(100%)
宝達志水町	3施設(100%)	中能登町	5施設(100%)	輪島市	6施設(100%)
珠洲市	1施設(100%)	能登町	4施設(80.0%)	金沢市	15施設(15.4%)

（4）総合的・計画的施策の推進

・歯と口腔の健康づくり推進会議の開催

内容：学識経験者、歯科医師会代表、市町代表等を委員とし、施策の総合的推進を図る

実績：県庁及び各保健福祉センターで開催（計7回予定） 別紙 参照

2 令和7年度歯科口腔保健人材育成事業（県歯科医師会委託）

1) 目的

令和6年8月に策定した「第3次いしかわ歯と口腔の健康づくり推進計画」に基づき、歯と口腔の健康づくりを広く推進するため、県民の歯科保健の向上を担う人材や高齢期の口腔機能向上を担う人材の育成を行う。

## 2) 事業内容

### (1) 歯科保健指導従事者研修会の開催

内容：歯科医師、歯科衛生士等、歯科保健指導の従事者に対する研修会の開催

実績：①施設基準対応研修会（4月27日開催）

②石川県歯科衛生士会研修会（12月12日開催）

③石川県歯科技工士会研修会（2月8日開催）

### (2) 高齢者施設等における口腔ケア従事者育成事業

内容：高齢者施設等を訪問し、口腔ケア従事者に対して技術指導を実施

実績：各保健福祉センター管内等で開催（下記表参照）

	実施日	施設
県庁	③ 7月9日 ①、②、④は Youtubeでの 期間限定配信	①主任介護支援専門員研修 受講者 60名 ②主任介護支援専門員更新研修 受講者 146名 ③介護支援専門員更新研修 専門研修課程Ⅰ 受講者 59名 ④介護支援専門員更新研修 専門研修課程Ⅱ 受講者 243名
南加賀	① 10月1日 ② 10月8日 ③ 1月20日	①レイクサイド木場 21名 ②グリーンポート小松 21名 ③田谷会 41名
石川中央	① 9月27日 ② 10月22日	①ケアハウス鳥越 ②特別養護老人ホーム夕陽ヶ丘苑
能登中部	① 7月10日 ② 7月16日 ③ 7月28日	①特別養護老人ホーム第二宝達苑 11名 ②介護医療院 夕なぎ 9名 ③介護老人保健施設 和光苑 25名
能登北部	実施なし	

## 3 令和7年度被災者歯科支援事業（県歯科医師会委託）

### 1) 目的

令和6年能登半島地震の被災地では、断水が長期に続いたこと等により、口腔清掃不良となりやすく、また、疲労や栄養不良等により免疫力が低下し、誤嚥性肺炎が増加する可能性がある。

また、仮設住宅への入居は、社会環境の変化等により、健康状態を悪化させる可能性があるため、被災者の歯と口腔の健康づくりを支援することにより、健康増進及び生活の質の向上を図る。

### 2) 支援対象

6市町（七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町）

### 3) 実施方法

市町の要望に応じて、仮設住宅入居者等に対して、集会所等での歯科健康相談や歯科保健指導を実施。支援により把握された課題は依頼先の市町に報告。

〈歯科保健指導の例〉

歯科医師による歯科健康講話（口腔ケアの重要性の説明など）や歯科衛生士による歯科健康相談等を行うほか、歯みがき指導や入れ歯の磨き方の指導など、被災者一人ひとりの口腔内に合わせて

口腔ケアの実践法を指導。また、市町の要望に応じて、歯科健診や口腔機能検査、フッ化物塗布等も実施。

#### 4) 活動実績

4市町において165人を支援（R8.1月末時点）

	活動日数	支援人数	活動内容
輪島市	0	0	
珠洲市	0	0	
穴水町	6	47	歯科健康講話、歯科口腔健診、歯科健康相談等
能登町	3	38	歯科健康講話、歯科健康相談、オーラルフレイル教室等
七尾市	7	66	歯科健康講話、歯科口腔健診、歯科健康相談等
志賀町	1	14	歯科健康講話、歯科口腔健診、歯科健康相談等
計	17	165	

令和7年度 各保健福祉センターにおける歯と口腔の健康づくり推進会議開催状況

南加賀保健福祉センター			
日時	令和7年7月22日(月) 16:00~17:00 ※第1回南加賀歯科保健ワーキングとして開催	令和7年9月4日(木) 15:45~16:45	令和8年3月12日(木) 16:00~17:00 ※第2回南加賀歯科保健ワーキングとして開催
会場	南加賀保健福祉センター 大会議室 (Zoomによるオンライン会議)	南加賀保健福祉センター 大会議室	南加賀保健福祉センター 大会議室 (Zoomによるオンライン会議)
参集者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郡市支部歯科医師会長(小松・加賀・能美)</li> <li>・各郡市支部歯科医師会公衆衛生担当(小松・加賀・能美)</li> <li>・市町歯科保健担当者 等</li> </ul> (助言者) <ul style="list-style-type: none"> <li>・県歯科医師会代表</li> <li>・県歯科衛生士会代表</li> <li>・金沢市歯科医師会</li> </ul> 計26名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県歯科医師会</li> <li>・管内郡市歯科医師会(小松、加賀、能美)</li> <li>・県歯科衛生士会</li> <li>・市長歯科保健担当者等 他</li> </ul> 計19名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郡市支部歯科医師会長(能美)</li> <li>・各郡市支部歯科医師会公衆衛生担当(小松・加賀・能美)</li> <li>・市町歯科保健担当者 等</li> </ul> (助言者) <ul style="list-style-type: none"> <li>・県歯科医師会代表</li> <li>・県歯科衛生士会代表</li> <li>・金沢市歯科医師会</li> </ul> 計25名
内容	1 報告 ①南加賀管内のフッ化物洗口事業の経緯及び県内の導入状況 ②各市町の児童福祉施設等におけるフッ化物洗口事業の取組み状況  2 意見交換	1 報告 ①「石川県歯科医師会の重点的な取り組み」 ②「各市町の歯科保健の取組みと課題」  2 意見交換 ・歯周疾患検診等の周知方法、自己負担、対象者について ・高齢者歯周病検診について ・歯周病検診のマニュアル改正について	1 報告 1. 南加賀管内のフッ化物洗口事業の実施状況及び県内の導入状況 2. 各市町の児童福祉施設等におけるフッ化物洗口事業の取組み状況 ~令和7年度の振り返り、令和8年度の実施計画について~  2 意見交換
意見・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フッ化物洗口事業の広がりについては、先生方や行政と連携を取ってやってきた成果だと思う。</li> <li>・やりっぱなしにならないように、実施園でも対象が変わるので定期的にフォローアップしていくことが大切。誤飲についても問題がないことを説明する等、職員に寄り添った対応をしていくことが大切である。</li> <li>・学校への導入に向けては、現場の負担感を軽減させるような説明や方法の検討が必要に思われる。フッ化物洗口を経験した園児たちが増え、学校へ行っても切れ目なく実施できる体制づくりが望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯周疾患検診について、一部ではコロナ流行期前の受診率まで戻っていない市町もあり、受診率が低い状況である。SNSの活用等、周知方法についても検討することが重要である。</li> <li>・高齢者歯周病検診については、R7年度から管内市町では実施されることになった。口腔機能評価に着目する等、国の方針を理解しながら進めていくことが重要である。</li> </ul>	

	石川中央保健福祉センター	能登中部保健福祉センター	能登北部保健福祉センター
日時	令和7年12月11日（木）14:00～15:00	令和7年12月4日（木）14:00～16:00	令和7年10月30日（木）14:00～16:00
会場	県庁1104会議室（ハイブリッド開催）	能登中部保健福祉センター 大会議室	奥能登行政センター4階 42会議室
参集者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県歯科医師会理事</li> <li>・各郡市部（白山野々市、河北郡市）会長</li> <li>・市町歯科保健担当者 等</li> </ul> <p style="text-align: right;">計13名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県歯科医師会理事</li> <li>・各郡市支部（七尾・羽咋）会長</li> <li>・小学校養護教諭</li> <li>・保育園等関係者</li> <li>・市町歯科保健担当者 等</li> </ul> <p style="text-align: right;">計16名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県歯科医師会理事</li> <li>・各郡市支部（輪島・珠洲鳳珠）会長</li> <li>・市町歯科保健担当者</li> <li>・市町地域包括支援センター担当者 等</li> </ul> <p style="text-align: right;">計20名</p>
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>①管内の歯科保健の現状</li> <li>②石川県の歯科保健事業の取り組み</li> <li>③石川県歯科医師会の取り組み</li> </ul> </li> <li>2 意見交換</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>①管内の歯科保健の現状について</li> <li>②管内市町における歯科保健事業について</li> <li>③保育所等・学校における歯科保健事業について</li> <li>④県及び石川県歯科医師会の歯科保健事業について</li> </ul> </li> <li>2 意見交換</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和7年度管内市町における歯科保健の現状、取組</li> <li>2 石川県歯科医師会の取組</li> <li>3 石川県の取組</li> <li>4 意見交換</li> </ol>
意見・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国・石川県と数値を比較して乳幼児期には数値が良好な傾向であるが、成人期・高齢期と進んでいくにあたり口腔内が悪化している傾向が見られる。</li> <li>・フッ化物洗口の普及について、管内では白山市と津幡町が未実施である。来年度の会議では保育担当課や学校といった関係機関へも参加依頼する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児のう蝕有病者率、1人平均う歯数について、管内は他圏域と比較して高い傾向にある。</li> <li>・成人における口腔内状況についても、歯周炎や未処置歯など県や全国と比較して悪い状況にある。適切なセルフケアに加え、定期的なかかりつけ歯科医受診の重要性について普及啓発していく必要がある。</li> <li>・小中学校でのフッ化物洗口が広まってきている。学校での導入にあたっては、学校で実施する目的や必要性について、現場との共通認識を持つことが重要である。</li> <li>・歯科健診の広域的实施について県内他の地域からも要望があるが、様々な調整が必要であり、すぐに実現はできない。まずは各市町において「歯周病検診マニュアル2023」に準拠した検診票に整えていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校でのフッ化物洗口：県内では現在2市町（加賀市、中能登町）のみ実施しており、他市町では実施が進んでいない。歯科医師や県が学校に実施を呼びかけているそうだが、教育委員会はフッ化物洗口の有効性は理解しているが、歯科について手が回っていないよう。まずは、市町が教育委員会と協議することから始める必要がある。また、今後の会議に教育委員会にも参加していただき、学校でのフッ化物洗口等学童期における歯科保健の推進について検討していく必要がある。</li> <li>・後期高齢者歯科検診の口腔機能評価について。口腔機能評価を行うためには地元の歯科医院の協力が必要だが、歯科医の高齢化等により、快く実施していただけるか分からない。</li> </ul>